

琵琶湖部会における委員発言に対応する資料

1. 「コアユ以外の漁獲量の年変化」と「コアユ漁獲量の年変化」について ・・・・・・・・1-1 ~ 1-2

第1回琵琶湖部会（5/11開催）における西野委員の発言

「琵琶湖の漁獲量の変化をみる際、アユの漁獲量が全体に占める割合が非常に大きいので、アユとそれ以外の魚類にわけて考える必要がある。」

に対して、西野委員本人から提供頂いた資料です。

2. 環境ホルモン関連調査・・・・・・・・・・・・・・・・2-1 ~ 2-7

第4回琵琶湖部会（8/24開催）において、藤井委員より、環境ホルモンに関する情報提供をして欲しいというご意見に対して、河川管理者から提供頂いた資料です。

(漁獲量(t))

3,500

コアユ以外の魚類漁獲量

3,000

2,500

2,000

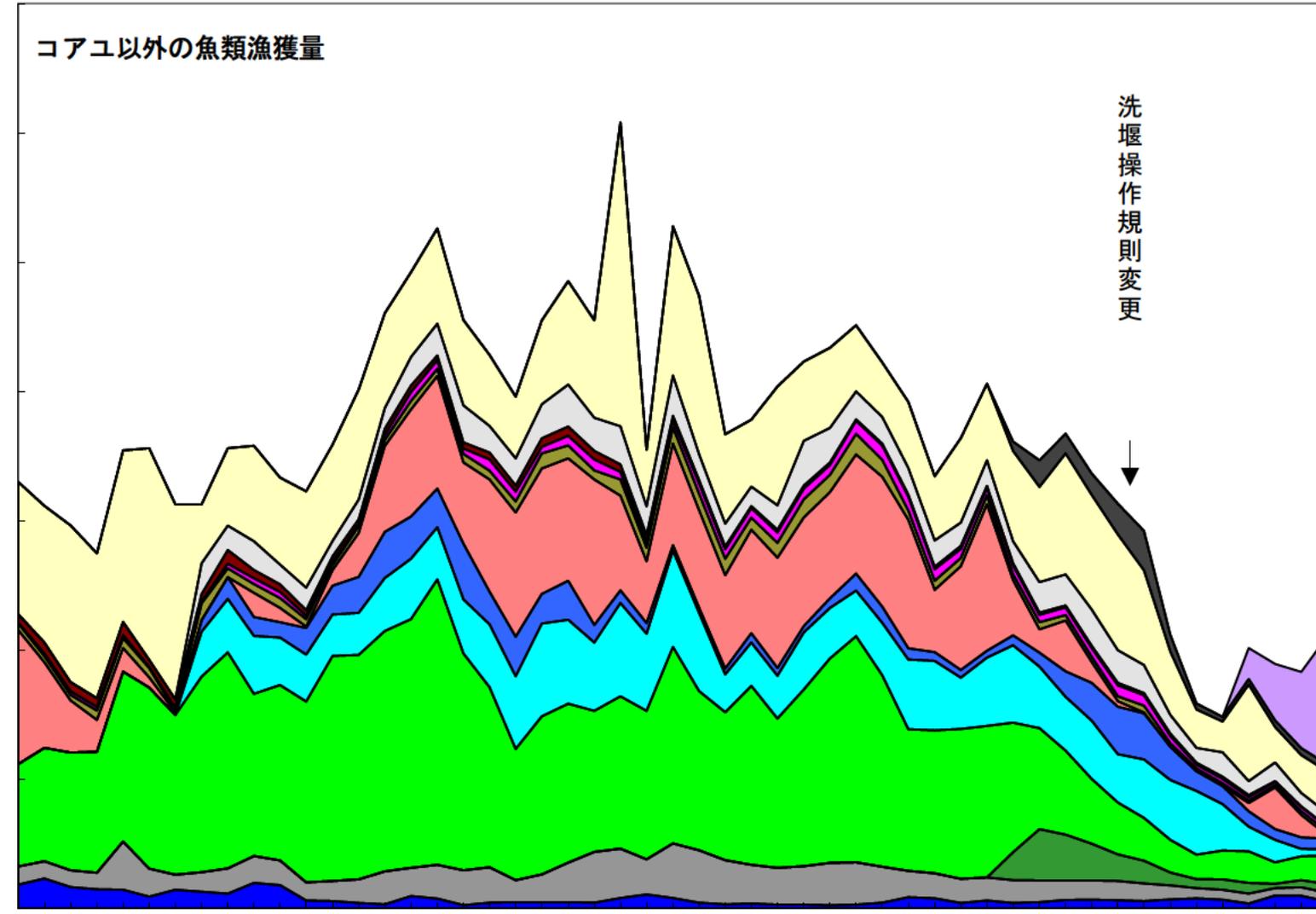
1,500

1,000

500

0

洗堰操作規則変更



- わかさぎ
- ブラックバス
- その他の魚類
- はす
- うなぎ
- おいかわ
- うぐい
- いさざ
- その他のもろこ
- ほんもろこ
- ふな
- にごろぶな
- こい
- ます

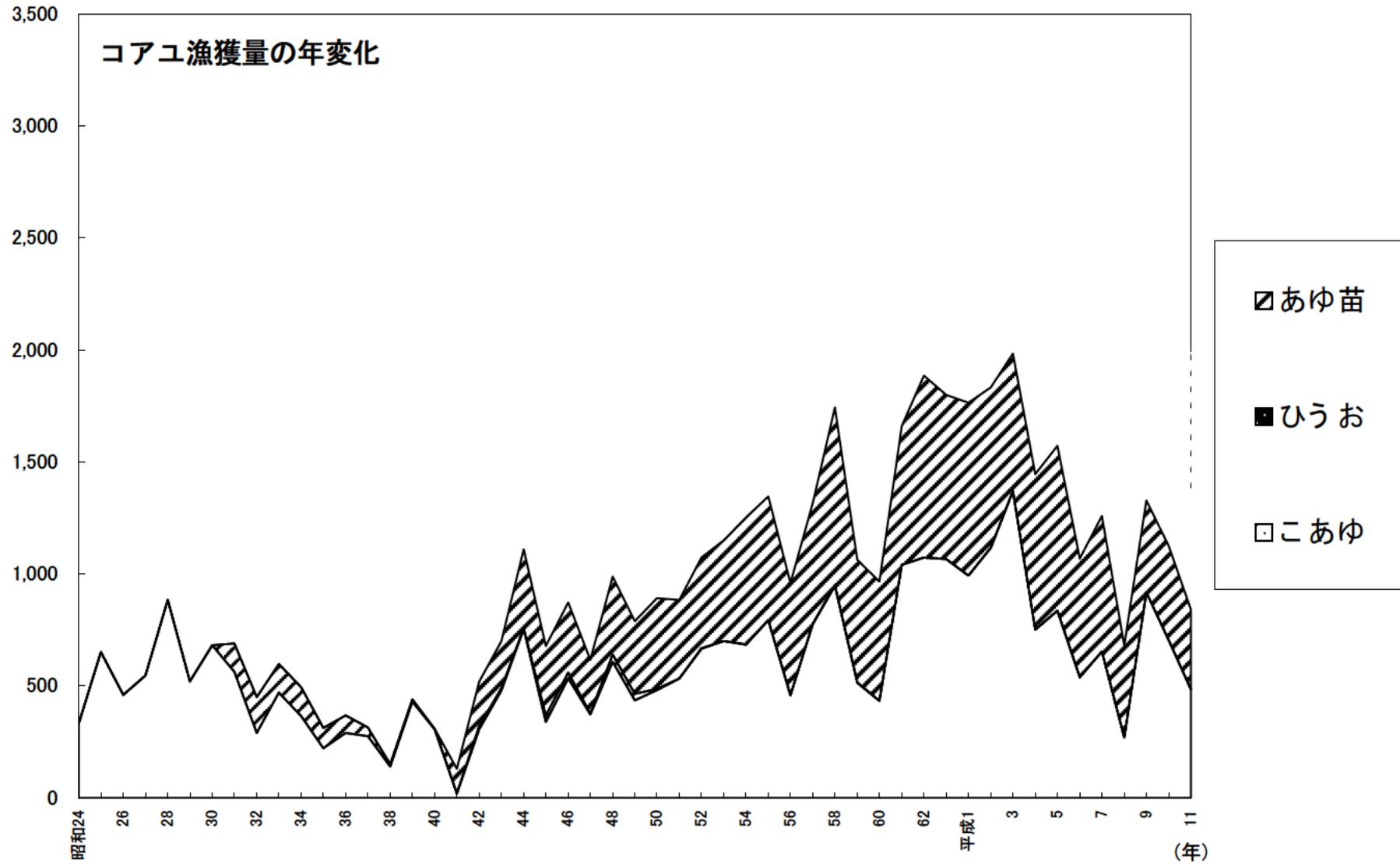
(年)

昭和24

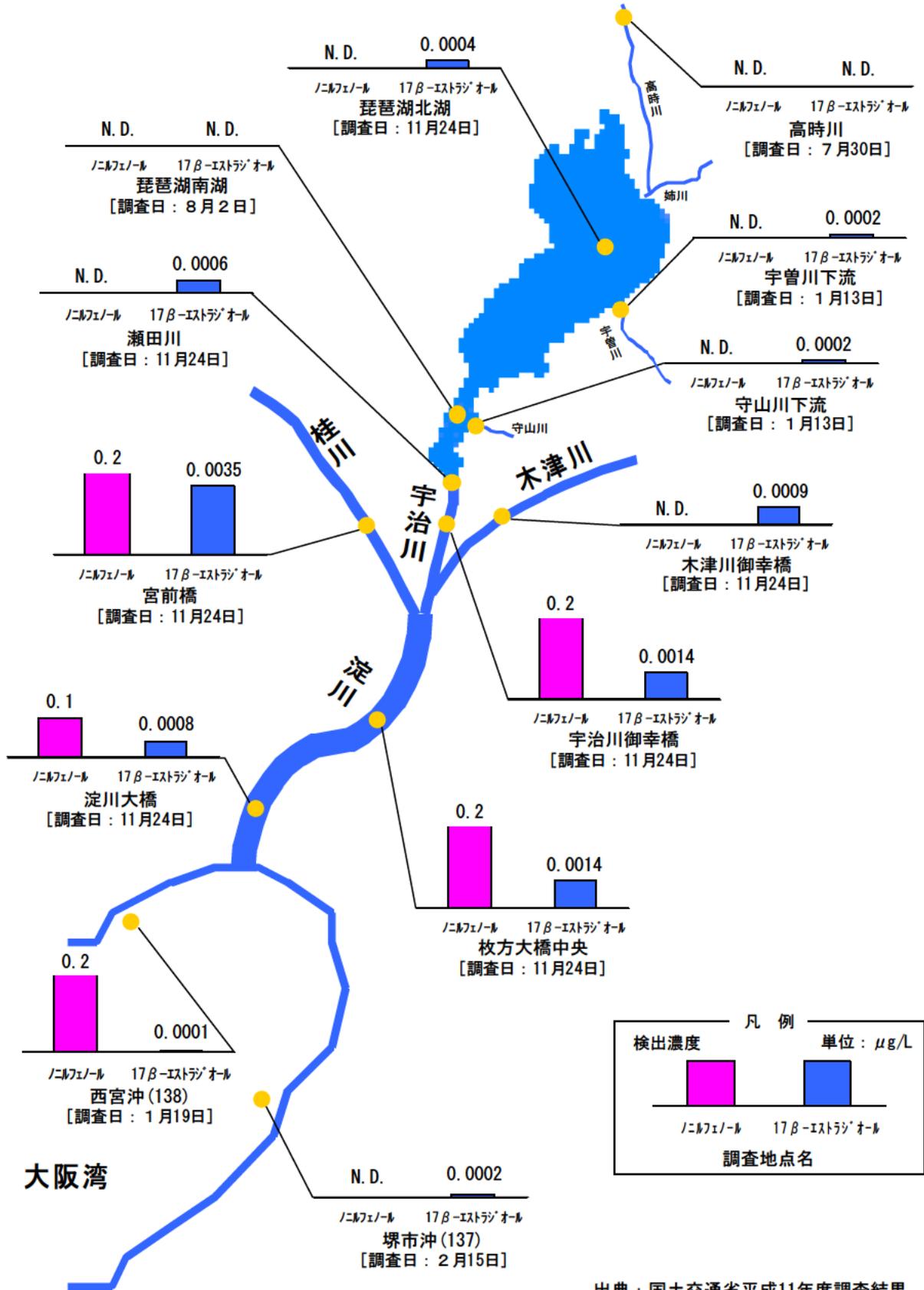
平成1

(漁獲量(t))

コアユ漁獲量の年変化

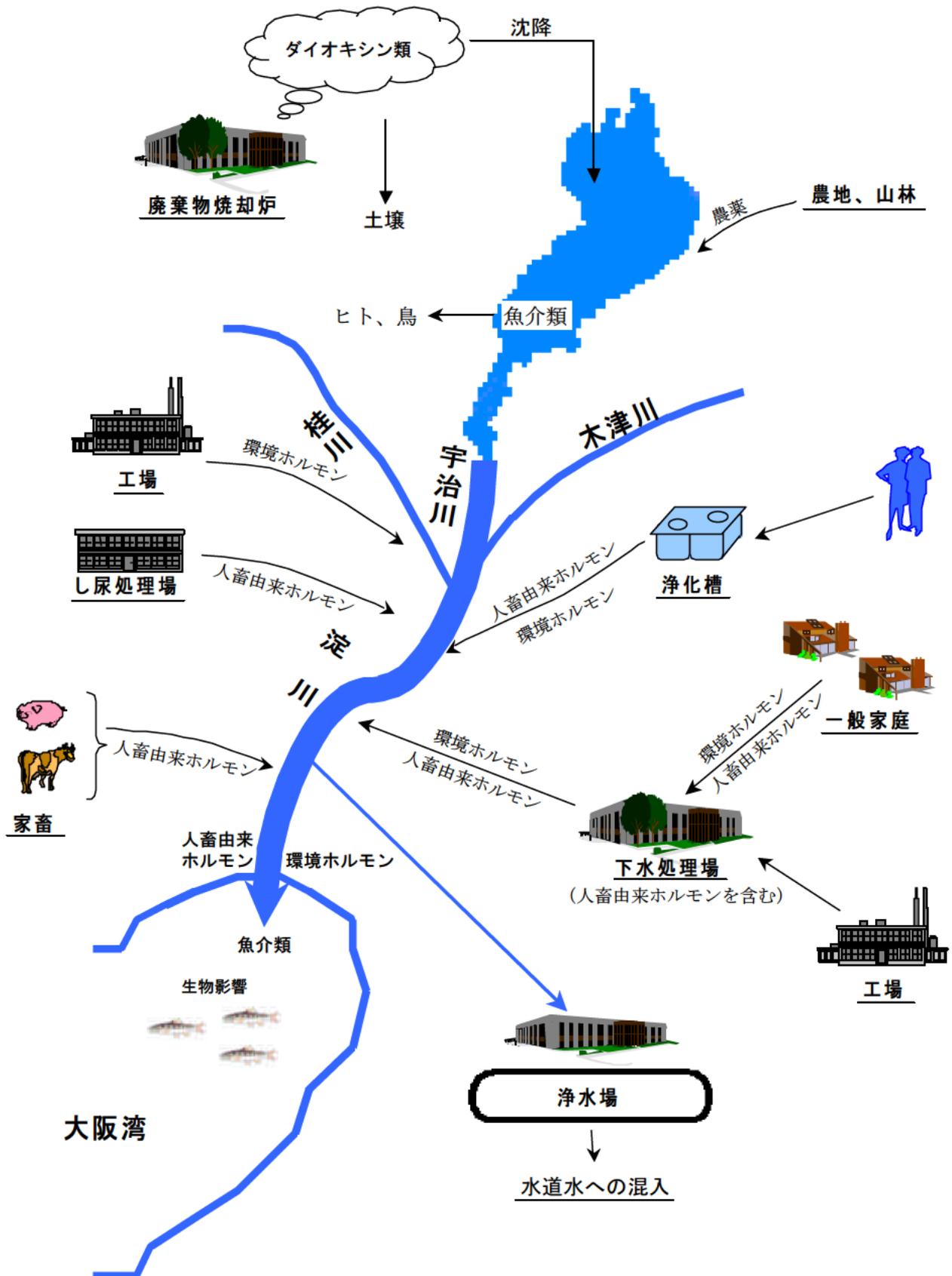


琵琶湖・淀川水系のノニルフェノール/17β-エストラジオール調査結果



出典：国土交通省平成11年度調査結果
：環境省平成11年度調査結果

琵琶湖・淀川水系の環境ホルモンの主要な発生源と流入概念図



「環境ホルモン」 とは何か

- 1 . 生殖異常を引き起こす化学物質
化学物質にどっぷり浸かった現代社会
化学物質がホルモンをかく乱している？
新たな地球環境問題となった「環境ホルモン」
- 2 . 「外因性内分泌かく乱化学物質」が正式な名称
「環境ホルモン」は日本で作られた造語
すっかり定着した「環境ホルモン」
- 3 . 今のところ環境ホルモンの正体は不明確
環境ホルモンの定義はあいまい
種類は約70～150くらいか
- 4 . 化学物質による汚染が日本でも深刻化
初めてビスフェノールAが検出された！
環境ホルモンとされる物質が各地で検出されている
日本中でダイオキシン汚染が進んでいる

引用文献：図解「環境ホルモン」を正しく知る本

[著者] 吉田昌史 読売新聞社科学部記者

[監修] 井口泰泉 横浜市立大学理学部教授

ノニルフェノール検出地点



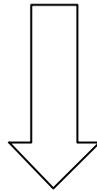
出典：環境省平成11年度調査結果
国土交通省平成11年度調査結果

17-β-エストラジオール検出地点

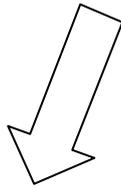


出典：環境省平成11年度調査結果
国土交通省平成11年度調査結果

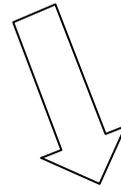
身の回りの化学物質
8万種



ホルモン様作用が
疑われる化学物質67種を選定
(平成10年5月 SPEED'98)



国土交通省実態調査
平成10年度：13物質



環境省実態調査
平成10年度：61物質

トピックス

ノニルフェノールの作用：世界で初めて確認

平成13年 8月3日 環境省発表

ノニルフェノールが一般環境中の濃度でもメダカのオスの精巢に、卵子のもとになる卵母細胞ができるとする報告書をまとめた。

メダカを使った飼育試験の結果から、ノニルフェノールの魚類に対する安全濃度を $0.608 \mu\text{g/l}$ と算定。

平成10、11年度に実施した調査では、

- ・環境省などが淀川水系神崎川に流れ込む味生水路（大阪府摂津市）で同 $21 \mu\text{g/l}$
- ・多摩川に流れ込む宮内排水路（川崎市）で同 $12 \mu\text{g/l}$

など、安全濃度を大きく超えている。